第374施設中隊　迅速な飛行場修復作業を実演

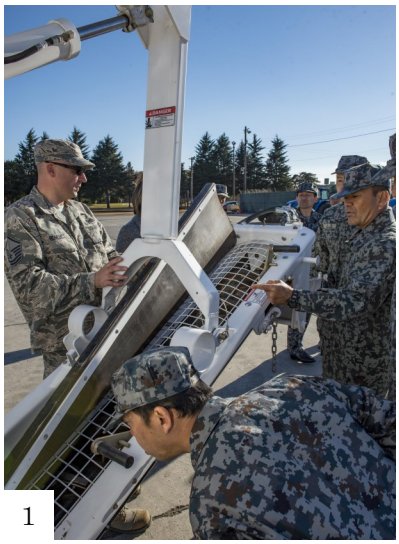
374th CES Rapid Airfield Damage Repair demonstration

December 12, 2016

Airman 1st Class Donald Hudson
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）横田基地で12月6日、迅速な飛行場修復作業の実演を見学する航空自衛隊の隊員に、機械の作動の仕方を説明する第374施設中隊大修理監督官アレキサンダー・B・ベネディクト米空軍曹長。

飛行場修復作業の実演は、米国と日本の工学技術の実践的な能力を分かち合い、米軍と自衛隊間での最も効率のよい技法を任務に生かす上で重要な役割を担った。



1

（写真2）横田基地で航空自衛隊の隊員に迅速な飛行場修復作業の実演を行った後、第374施設中隊の空兵たちに話をする太平洋空軍A4C(土木工学部)ドウェイン・M・ロビンソン米空軍大佐。

飛行場修復作業の実演に加え、3日間のコースのあいだ、第374施設中隊は、航空自衛隊の隊員に爆発物処理、滑走路破損箇所見取り図、化学・生物・放射性物質・核兵器防衛の実践的な技能を披露した。

2

（写真3）迅速な飛行場修復作業の実演終了後、写真を撮るためにポーズを取る航空自衛隊と第374施設中隊の隊員たち。

3